

公衆衛生看護学における学生の主体的な学びを重視した健康教育実習プログラムの開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲里, 良子 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003362

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 24 号

公衆衛生看護学における学生の主体的な学びを重視した健康教育実習プログラムの開発

(Development Health Education Practice Program focus on Student Active Learning in Public Health Nursing)

仲里 良子 (なかざと りょうこ)

博士 (看護学)

論文審査結果の要旨

本研究は、学生が保健師として求められる健康教育の実践能力を獲得し、自信をもって健康教育を実施できるスキルを習得することを目的とした公衆衛生看護学健康教育実習のプログラムを開発した意義ある論文である。

文献検討および質的研究から得られた学生の 9 つの学習プロセスと ICE モデルに基づき健康教育実習プログラムが開発された。このプログラムはグループ学習、プロジェクト・ベースド・ラーニング、ポートフォリオから構成されるアクティブラーニングプログラムである。また、学習目標及び評価基準として ICE ルーブリックを提示したことで、学生の自己成長の評価・認識と主体的学びを促進するための仕組みとして機能させた点が特徴的である。開発されたプログラムは、学生 3 名、実習指導者 1 名、地域住民 2 名、実習施設指導者 1 名を対象に実施され、準-実験的デザインで多面的に介入効果を評価した。結果として、学生は意図した学習目標に到達し、学習効果を確認した。本研究成果は、保健師の実践能力の向上の点において価値があるといえる。

よって、本論文は博士 (看護学) の学位を授与するに値するものと判定した。